

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

## 現在の流行状況

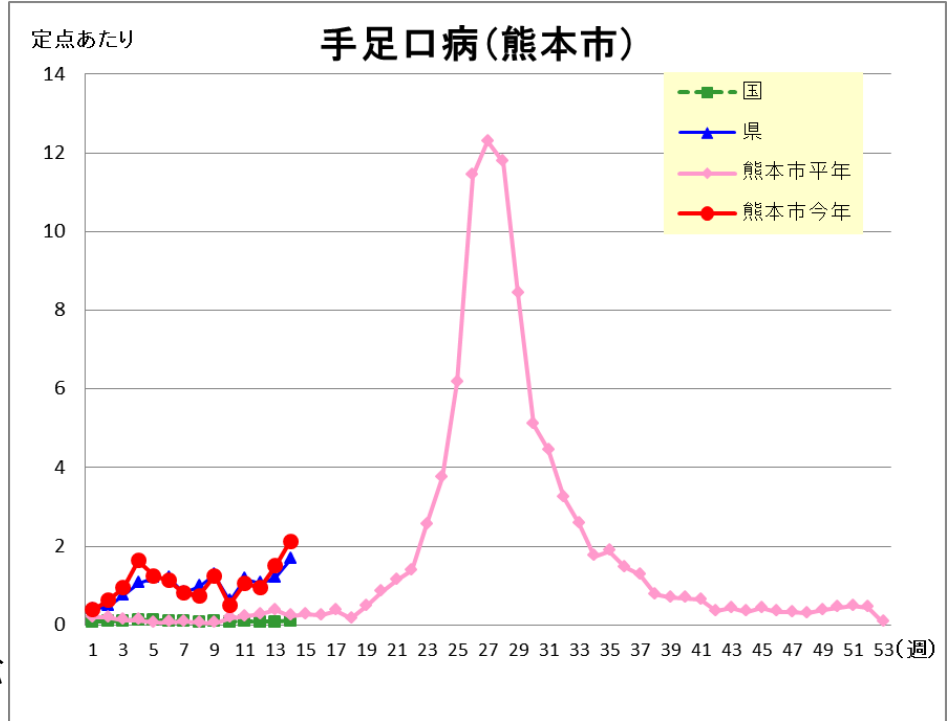
冬の間流行していた感染性胃腸炎もインフルエンザも患者報告数が減少しており、流行は終息となっています。

現在特に警報、注意報となる患者報告があつている疾患はありません。

夏から春にかけて流行する疾患で、手足口病の報告数が増加傾向にあります。

手足口病は5歳までの子ども、特に2歳以下の乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。年間を通じて、感染する可能性がありますが、7月が流行のピークとなることが多く、これから増加する可能性があり注意が必要です。

便や咳、くしゃみから感染しますので、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが有効です。



期 間	第13週		第14週		疾患の増減
	3/24 ~3/30		3/31 ~4/6		
疾患名	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
インフルエンザ	180	7.2	91	3.64	↓
RSウイルス感染症	1	0.06	1	0.06	→
咽頭結膜熱(プール熱)	3	0.19	3	0.19	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	1.88	25	1.56	↓
感染性胃腸炎	133	8.31	114	7.13	↓
水痘(みずぼうそう)	7	0.44	24	1.5	↑
手足口病	24	1.5	34	2.13	↑
伝染性紅斑(りんご病)	2	0.13	0	0	↓
突発性発疹	13	0.81	14	0.88	→
百日咳	0	0	0	0	→
ヘルパンギーナ	2	0.13	6	0.38	↑
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1	0.06	2	0.13	→
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	→
流行性角結膜炎(はやり目)	18	3.6	9	1.8	↓
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	→
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	→
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	→
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	→
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	1.6	5	1	↓